



海外旅行を楽しむために 虫除け対策はしっかりと

平成 29 年 7 月 26 日
富山県感染症情報センター
(直 0766-56-5431)
(直 0766-56-8142)

感染症発生動向速報

病原体の運び屋! (平成 29 年第 29 週分・7 月 17 日～7 月 23 日)

《 インフォメーション 》

●海外で注意すべき感染症

この夏、長期休暇を利用して海外に行かれる方も多いと思われます。楽しい思い出にするためにも、海外で感染症にかからないよう気をつけることも重要です。必要なワクチン接種はあらかじめ受けておくなど、出発前に感染予防の方法を今一度ご確認ください。

注意すべき感染症は渡航先によって異なります。最も感染の可能性が高いのは消化器系の感染症（A 型肝炎、E 型肝炎、コレラ、赤痢、腸チフスなど）であり、発展途上国など公衆衛生の整備が不十分な地域へ行く際は注意が必要です。十分に加熱処理がされていない物（水、氷、サラダ、生鮮魚介類等）の飲食は避けましょう。また、海外では麻疹（はしか）や風疹が流行している地域があります。ご自身のワクチン接種の必要性についてご確認ください。

東南アジア、南米、アフリカなどの熱帯・亜熱帯地域では、蚊が媒介する感染症（デング熱、マラリア、チクングニア熱、ジカ熱、黄熱など）が流行しています。これらの

蚊が媒介する主な感染症の報告状況(全国)

	診断年(平成)										
	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29 [※]
デング熱	89	104	93	245	112	220	249	340	292	338	94
マラリア	52	56	56	76	78	73	48	60	41	54	22
チクングニア熱	H23年から報告対象				10	9	13	16	17	13	2
ジカ熱	H28年から報告対象									12	2

※第 28 週(7/10～7/16)現在

感染症は、現在日本国内では流行しておらず、海外で感染して帰国後に発症する症例が報告されています(表参照)。流行地へ旅行する際は、**長袖・長ズボンを着用し、虫除けスプレー**を利用するなどして蚊に刺されないように注意しましょう。

また、人に重篤な症状を起こす動物由来感染症(中東呼吸器症候群(MERS)、狂犬病、鳥インフルエンザなど)もあります。むやみに動物に触れるのは止めましょう。

帰国後に症状が出た方は、病院受診の際に渡航歴を必ず話してください。受診方法で分からないときには検疫所または厚生センター(保健所)にご相談ください。

渡航先の感染症情報

FORTH

検索 

《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 4 件 (①第 28 週診断分: 20 歳代、女性 ②第 28 週診断分: 80 歳代、男性 ③50 歳代、女性 ④60 歳代、男性)

五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 件 (70 歳代、男性)
後天性免疫不全症候群 1 件 (40 歳代、男性、無症候)
侵襲性肺炎球菌感染症 1 件 (第 28 週診断分: 10 歳未満、男性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患

順位	疾病名	定点あたりの数		
		今週	先週	増減
1 位	手足口病	10.07	9.97	↑
2 位	感染性胃腸炎	3.72	3.93	↓
3 位	ヘルパンギーナ	1.41	1.14	↑
4 位	RS ウイルス感染症	0.93	0.34	↑
5 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.72	0.93	↓
6 位	流行性角結膜炎	0.43	1.14	↓

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます

アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成29年第29週 平成29年7月17日～平成29年7月23日）

分類	疾患	今週報告分（第29週）						累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核					2	2	8	5	27	10	49	99	
三類感染症	細菌性赤痢									1			1	
	腸管出血性大腸菌感染症								2	1	1	7	11	
四類感染症	A型肝炎							2				1	3	
	デング熱											3	3	
	レジオネラ症							4		6	1	7	18	
五類感染症	アメーバ赤痢							1				3	4	
	ウイルス性肝炎							1					1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症					1	1	1			4	1	6	
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、タニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びフトバレー脳炎を除く）											1	1	
	クロイツフェルト・ヤコブ病											1	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2		4	6	
	後天性免疫不全症候群					1	1			1		2	3	
	ジアルジア症							2		1			3	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	1	1	3	
	侵襲性肺炎球菌感染症							4		2	2	16	24	
	梅毒							1		2		2	5	
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ					1	1	1,886	1,364	2,452	1,551	3,416	10,669
							0.06	0.02						
RSウイルス感染症		1	1	2	2	21	27	34	23	30	39	346	472	
		0.25	0.33	0.25	0.50	2.10	0.93							
咽頭結膜熱		5		1		1	7	57	19	198	60	146	480	
		1.25		0.13		0.10	0.24							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2		6	2	11	21	105	37	661	219	550	1,572	
		0.50		0.75	0.50	1.10	0.72							
感染性胃腸炎		20	10	13	2	63	108	1,039	694	1,108	508	2,376	5,725	
		5.00	3.33	1.63	0.50	6.30	3.72							
水痘				1		1	2	5	30	68	29	111	243	
				0.13		0.10	0.07							
手足口病		11	16	148	19	98	292	78	82	512	38	496	1,206	
		2.75	5.33	18.50	4.75	9.80	10.07							
伝染性紅斑				2		2	4			5	1	17	23	
				0.25		0.20	0.14							
突発性発しん		1	3	5		2	11	34	22	128	53	90	327	
		0.25	1.00	0.63		0.20	0.38							
百日咳										2			2	
ヘルパンギーナ		3	2	17	4	15	41	19	11	66	10	38	144	
	0.75	0.67	2.13	1.00	1.50	1.41								
流行性耳下腺炎	4		5		1	10	143	60	391	74	339	1,007		
	1.00		0.63		0.10	0.34								
急性出血性結膜炎									3	2		5		
流行性角結膜炎			1	1	1	3		1	207	14	5	227		
			0.50	1.00	0.50	0.43								
細菌性髄膜炎							1				1	2		
無菌性髄膜炎							1				3	4		
マイコプラズマ肺炎							9	2	13	7	16	47		
クラミジア肺炎										1	1	2		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							10		15	21	12	58		
インフルエンザによる入院患者（*）					1	1	54	3	38	107	98	300		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。